

はが

久し振りに会えたね

身体障害者福祉協会がボランティアと交流

「障がい者のことを理解してもらいたい」と、身体障害者福祉協会波賀支部では、地域の様々な団体との交流を続けています。

今年も、6月28日(木)、

市民グラウンド波賀で交流グラウンドゴルフが開催され、同協会会員とボランティア連絡会会員、波賀民生児童委員協議会障がい部会のみなさん計43名の交流となりました。「1年ぶりやね。元氣しとっちゃったか？」と和氣あいあいのうちにプレーがはじまりました。

だれでも気軽に楽しめるグラウンドゴルフは、「初めてしたけど楽しかった」「いろんな人と知り合えた」と好評です。同協会はこれまでに、

連合自治会や老人クラブ連合会、婦人会とも交流し、近年はボランティア連絡会との交流が続いています。

当事者団体が、積極的に他の団体と交流をもつという取り組みは、市内では他に見られない活動です。社協はこのような活動を積極的に支援していきます。身近な活動の積み重ねが、心のバリアフリーにつながることを期待します。

(波賀支部 坂本幸子)



1位 おめでとうございます



「きゃー おいしいなあ」

ちくさ

地域にひろがる

「ボランティアの日」

千種支部では6月10日を「ボランティアの日」として、千種ボランティア代表者会と千種生活学校のみなさん、社協職員の総勢98名で町内清掃作業を行いました。

このとりくみは、ボランティア代表者会が、環境美化にも目を向けようと、昨年から行われているものです。

「私たちの活動が地域へ広がるきっかけとなれば」という同代表者会田口晶江会長の



「ゴミがたまっとるなあ」

挨拶の後、6つの班が分担当場所へ移動し、民家の少ない道路を中心に手の届く範囲のゴミを拾いました。

参加者からは「去年よりゴミが減ったような...」「久しぶりに町を歩いて、ゴミを拾って気持ちよかった」との声が聞かれました。町内を回り清掃活動をする事で、環境だけでなく地域への関心が高まったように思います。

今年で2年目。いずれは誰でも自然に参加できる日として「ボランティアの日」が定着するよう、続けていきたいものです。

(千種支部 山木志穂)



集まったゴミはトラックに山盛り！